

新潟市教育委員会 令和6年8月 定例会会議録				
日 時	令和6年8月 27 日(火) 午前 10 時 30 分			
場 所	新潟市役所 ふるまち庁舎 4階 教育会議室1			
教育長	夏 目 久 義			
出席委員 (8名)	齋 藤 昭 彦	出席委員	神 林 む つ み	
	乙 川 千 香		小 見 直 樹	
	中津川 英 子		渡 部 雄 一 郎	
	畠 山 典 子	欠席委員		
	石 坂 学			
会議出席 教育委員会 事務局職員 (9名)	職・氏 名		職・氏 名	
	教 育 次 長	丸 山 明 生		
	教 育 次 長	山 本 正 雄		
	教育総務課長	渡 辺 和 則		
	学校人事課長	山 本 郁 雄		
	学校支援課長	三 條 貴 之		
	特別支援教育課	五 十 嵐 重 行		
	中央公民館長	辻 村 理 恵		
	中央図書館長	新 井 直 美		
	教育総務課 補 佐	相 崎 敦 子		
他部署 出席者(0名)				

開会	時 刻	午前 10 時 30 分
	宣 言 者	教育長
付議事件 (3 件)	議案第 15 号	令和 7 年度使用新潟市立高等学校用教科用図書および令和 7 年度使用新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書の採択について
	議案第 16 号	令和 6 年 9 月議会定例会の議案について
	議案第 17 号	教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する点検・評価(案)について
報告 (4 件)	令和 7 年度使用新潟市立特別支援学校・特別支援学級用一般図書の変更に係る教育長による臨時代理について	
	令和 6 年度全国学力・学習状況調査の結果について	
	和解及び損害賠償額の決定に係る専決処分について	
	職員の人事措置に係る教育長による臨時代理について	

## 第1 開会宣言

- 教育長 午前10時30分 開会を宣言する。  
これより、令和6年8月新潟市教育委員会定例会を開催いたします。  
本日は報道関係者より委員会を撮影及び録音したい旨の申し出がありますが、これを許可することにご異議ありませんでしょうか。  
(異議なし)  
それでは、許可することといたします。

## 会議録署名委員の指名

- 教育長 日程第1「会議録署名委員の指名」を行います。新潟市教育委員会会議規則第11条により、会議録署名委員に渡部委員及び齋藤委員を指名します。

## 第2 付議事件

- 教育長 次に、日程第2、付議事件に入ります。はじめに議案第15号、令和7年度使用新潟市立高等学校用教科用図書および令和7年度使用新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書の採択について、学校支援課から説明をお願いします。

- 学校支援課 それでは議案第15号について説明します。審議いただく各教科用図書については、4月の教育委員会定例会で承認いただいた、令和7年度使用新潟市立高等学校用教科用図書採択に関する基本方針及び令和7年度使用新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書採択に関する基本方針に基づき、各学校が調査研究を行いました。

各学校は自校の教育課程と照合しながら、内容、配列、分量、図表、写真、資料の見やすさ等を比較検討した上で、自校の実態に即して教科用図書を選定しました。本日は学校ごとに一括して説明させていただきます。

はじめに、万代高等学校の選定結果についてです。5ページから9ページに記載されております。万代高等学校は、全日制普通科及び英語理数科それぞれの学科やコースの目的を踏まえて選定を行いました。

次に、明鏡高等学校の選定結果です。10ページから12ページに記載されています。明鏡高等学校は、定時制普通科の午前部と夜間部、それぞれの目的を踏まえて選定を行いました。

次に、高志中等教育学校後期課程4年生から6年生用の教科用図書の選定結果です。13ページから14ページに記載されています。高志中等教育学校は、中高一貫校、中校一貫教育校という特性を踏まえた選定結果となっています。なお、中等教育学校後期課程では、高等学校用教科用図書を使用するため、授与学年については高等学校の学級にあわせて、それぞれ高等学校1・2・3年生用と記載されておりますが、それぞれ中等教育学校の4・5・6年生用ということをご理解ください。

教育委員の皆様には、これまでに各学校の教育目標を十分にご理解いただいた上で、各学校から出された教科用図書選定一覧に基づいて教科書を丁寧にご覧いただき、内容を把握していただいております。

○教育長	<p>それでは議案第15号についてご審議をよろしくお願ひいたします。</p> <p>ただ今の説明に、ご意見等はございますでしょうか。</p>
○畠山委員	<p>よろしくお願ひします。私は数学の教科書を見させていただきました。どの学校も数学1を中心に見させていただきました。</p> <p>まず、明鏡高等学校の数学1なのですが、こちらは絵や写真がよく入ってまして理解しやすいと思いました。それから必要な公式等があるのですけれども、それがはっきりと分かるように囲ってあったりして、よくまとめられているなど思いました。そして、小中学校の復習を取り入れているので、スムーズに授業に取り組めるようになっていっていると感じました。</p> <p>次に、万代高等学校ですが、解説、まとめ、そして練習という順で、授業がスムーズに展開できるように工夫されていると思いました。また「深める」というコーナーがありまして、応用に挑戦してみようという意欲をかき立てるものとなっているなど感じました。</p> <p>それから、高志中等教育学校なのですが、「見方を変えて考える」という思考力を高める項目とか、それから単元ごとの目標の明記など、自ら深く学ぶための工夫がされていると思いました。以上です。</p>
○教育長	<p>他にご意見ご質問はありますか。</p>
○中津川委員	<p>私は公共の教科書を拝見いたしました。公共という科目は2022年度から実施されている新学習指導要領で、新しく必修科目となったものです。私たち世代は全然耳なじみがなくて、どんなことを学ぶのだろうかと思われる方も多いと思うのですが、万代高校が採用した教科書では、冒頭部分に「公共を学ぶために」というような見開きのページがあって、公共という言葉の意味合いですとか、概念を改めて自分ごととして捉え直すというイントロダクションが記されていて、これがいいなど思いました。</p> <p>そして、明鏡高校が選ばれた教科書は、やはりイラストや写真などとても豊富でイメージが湧きやすい。そして理解が進みやすいと思いました。また、こちらには「企業から送られてくる求人票について見てみよう」という項目もありまして、これは卒業後、仕事に就く、就職する生徒も多い学校なので、大変役に立つのではないかと思います。</p> <p>そして、高志中等が選ばれた教科書は単元の終わりの方に「トライ」という部分がありまして、そちらの項目で考えをまとめたり、話し合ってみようという探究課題が設けられていて、アクティブラーニングをより促していく内容になっているところがいいと思いました。</p> <p>公共という科目の目的は、現代の諸課題を解決していく力を育成することということで、生徒の皆さんには主体的に考えを深めたり、活発に議論をしていただいて、不透明な時代を生き抜く力を身につけてほしいと思いました。</p> <p>3つの高校ともに適切な教科書を選定されていると思います。異論がございません。</p>
○教育長	<p>他にご意見ご質問はありますか。</p>

○小見委員

私は地図について拝見させていただきました。まず、万代高校と高志中等教育学校においては帝国書院の地図を選定されておりまして、中身を拝見しますと194ページというボリュームの中で、非常に豊富な情報が集約されていると感じました。また、気候であるとか、人口産業などの主題図を掲載されておりまして、またその各国間のつながりも図示されているなど、国内や世界各国との関係性が非常に分かりやすく、理解しやすい内容になっていると感じました。

明鏡高校では二宮書店を選定されておりまして、こちらも世界各国の情報、人口であるとか、産業貿易、1人当たりの国民所得など、様々な視点で整理されておりまして、各国の状況が非常にわかりやすく外観できるという特徴があると感じました。

また、地球温暖化問題にもテーマを当てており、生徒への学習意欲も喚起できるものであると感じました。いずれも非常に良い教科書、地図であるという理解をいたしました。以上です。

○教育長

他はいかがでしょうか。

○渡部委員

私は英語を見させていただきました。まずは、万代高校、啓林館と増進堂ということで、啓林館に関してはかなり外国語文化とか歴史をおり交ぜた教科書で、英語のボリュームがすごく多いなと感じたのと、英語で英語を学ぶ機会が非常に多いのかなと感じました。増進堂に関してはこちらも同じく、英語のボリュームが非常に多くて、学生が海外に興味を持ちやすいような内容がふんだんに盛り込まれているなと感じました。

明鏡に関しては、英語のコミュニケーションと論理表現がそれぞれ三省堂さんですけども、コミュニケーションの方はすごく全体を通して学びやすい。そんなにハードルが高くない。一方でロジックの方、論理の方は非常にロジカルにできていて、コミュニケーションと論理、両方とも学ぶにはすごくやりやすいのかなと感じました。

最後に、高志中等教育学校は東書と啓林館ということで、東書に関しては写真とかイラストがふんだんにおり交ぜられていて、非常に学ぶのに飽きないかなと思います。啓林館に関しては、こちらも万代と明鏡と同じように英語のボリュームが非常に多くて、英語を英語で学ぶという経験ができるのかなと感じました。

3校いずれも非常に英語のボリュームが多いので、英語で英語を学ぶのは英語の学習にとっては非常に重要だと思いますので、素晴らしい選択だなと思います。以上です。

○教育長

他にご質問やご意見がありましたらお願いします。

○神林委員

私は、歴史教科書には日本史探求と世界史探究、歴史総合があつて、各学校で必須単位になっているのが歴史総合でしたので、その歴史総合に絞って見させていただきました。

万代高校の第一学習社の教科書には、古代に触れつつ、17世紀以降の世

界と日本の関わりが地図を交えて分かりやすく記載されていました。近代は日本と世界のつながり、世界の中の日本の役割を対極的に捉えて示されており、現在から未来に向けてまでも、多くのページを要して諸課題を問いかけ考えてみようと呼びかけていました。

明鏡高校の清水書院の教科書は、世界史に重きを置かれた教科書だと感じました。限られた授業時間で歴史全般を学べるよう工夫された清水書院の教科書は、多くの写真やグラフや図での説明があって分かりやすく記載されています。そして、随所にQRコードがあって、より深く学べるように工夫されているのではないかと思います。

高志中等教育学校の教科書は実教出版です。日本の古代は日本史探究の教科書の方でしっかり学ぶようになっているのではないかと思います。17世紀以降の記載がされていました。世界での出来事、その時代の日本の状況が地図等による説明を交え、今節丁寧に記載されて、貿易、外交、経済にも分かりやすくつなげられていました。随所に芸術や文化が多数記載されているのも、歴史を多面的に学べるのではないのでしょうか。そして、この実教出版は世界大戦を終戦ではなく、敗戦と記していて、戦争の記憶を伝えていくことが大切だと訴えていると思います。今現在もいまだに侵略や内紛がなくなっておらず、世界地図が書き換えられ続けていると記載されて問題提起されています。

総じて、どの教科書も歴史を読み取り、未来を考えようと意図されているのではないかと思います。

○教育長

他はいかがでしょうか。

○齋藤委員

私は保健体育を担当させていただきました。万代高校と明鏡高校が大修館書店の現代高等保健体育、そして高志中等教育学校が新高等保健体育、同じ出版社から出ていても、ちょっと異なる教科書を拝見させていただきました。

まずは現代高等保健体育の方ですけれども、非常に時代に即した「特設」という1ページ見開きのコーナーがあって、そこに様々な現代、今、問題となっていることが非常にうまくカバーされていて、アルコールのハラスメントであるとか、それから性教育のことについて、あと薬剤耐性菌のことですね、無駄な抗菌薬を飲まないように等、社会の方々みんなに読んでいただきたいと思うような内容がたくさん書かれていて、非常に読みやすい教科書だと思います。

新高等保健体育は字が非常に大きくて、一方でより考える教科書になっているのかなと感じました。これも「アドバンス」という内容があって、ここにも様々な新しい内容が含まれていて、特に心配蘇生法とかですね、細かなやり方についての記載であるとか、あとはみんなでグループ学習するためにいくつかの大事な課題が挙げられていて、それに対して考察を深められるような非常に素晴らしい教科書を選定されたなと感じました。以上です。

○教育長

他はいかがでしょうか。

○乙川委員

私は美術の教科書を拝見いたしました。3校とも美術1の高校生の美術という教科書を選んでおります。基礎的な記号の解説だったり、道具の扱い方、また

注意事項なども写真や図を多く使って示されております。

また、歴史の変容についてなど、現代の美術、ユニバーサルデザインや映像美術にまで、子どもたち生徒たちが興味関心を持って学習に取り組むことができる内容となっております。美術全般を通して基礎的なことから満遍なく取り入れられた応用編まで、そういった教科書になっていると感じました。

○教育長

他はいかがでしょうか。

○石坂委員

私は理科全般について見させていただきました。各校ともそれぞれ教育課程に即した適切な教科書を選定していると感じています。ちょっと生物について話してみたいのですけれども、万代高校では、生物基礎、それからその後学ぶ生物、こういうところで同じ会社の東京書籍の教科書を選定しています。それぞれ同じ会社のものを使うことによって、共通な学び方ができるような、そういう配慮がなされている、つながりもしっかり意識して学習できていると思っています。生物基礎の教科書は、興味関心を高めるところに非常に重きを置かれていて、とても楽しく学習できるかなと思います。その後使う生物はすごく厚いんですね。480ページもあってすごく厚いのですけれども、図や補足の内容がとても多いかたちになっています。したがって、理数コースとか、普通科とか、万代高校はいろいろなコースをもっているのですけれども、その後、大学進学したい、または専門学校へ行きたいという多様な子どもたちに対応できるような、そういう学びができる教科書ではないかなと思います。

次に、明鏡高校は、版が大きいです。大きいのが故に、非常に資料が豊富で分かりやすいつくりになっています。こういうところは、基礎学力の充実を目指す、子どもたちが学びやすい教科書を選定するという意図かなと思っております。

高志中等教育学校ですが、高志中等は違う会社の教科書です。生物基礎で数研出版、それから生物で第一学習社の教科書です。生物基礎は学習内容に興味関心を高める工夫が非常に顕著でしたし、その後使う生物では、発展の内容が大変盛りだくさん入っていて、大学進学を目指す生物学科コースの生徒にとっては大変魅力ある教科書ではないかなと思います。

このように、生物を例にお話しましたが、各校とも自分たちの教育課程、スクールミッションとを合わせた適切な教科書が選定されているのではないかと感じました。以上です。

○教育長

他にはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、詳細にご覧いただきましたので、この議案第15号について承認ということでよろしいですか。

(異議なし)

承認とさせていただきます。

次の議案第16号、令和6年9月議会定例会の議案について、さらに議案第17号、教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する点検・評価(案)については、市議会へ公表前であることから非公開で行いたいと思いますが、これ

にご異議ございませんでしょうか。

(異議なし)

それでは公開案件の終了後に非公開案件として再開いたします。

次に、日程第3、報告に入ります。はじめに、令和7年度使用新潟市立特別支援学校・特別支援学級用一般図書の変更に係る教育長による臨時代理について、学校支援課から説明いたします。

### 第3 報告

○学校支援課長 お願いします。令和7年度使用新潟市立特別支援学校・特別支援学級用一般図書の変更に係る教育長による臨時代理について、説明いたします。定例会報告資料1ページです。令和7年度使用新潟市立特別支援学校・特別支援学級用一般図書の変更についてをご覧ください。

はじめに、追加図書についてです。特別支援学校用 小学部 算数/数学C、図書名『ゆつくり学ぶ子のための「さんすう」3』、報告資料4ページの太線囲みにしてある書籍です。本書については、7月の閲覧会、事前学習会、定例会において、教育委員の皆様にご覧いただいた書籍ではありましたが、報告書に記載がございませんでしたので追加するものです。

次に、削除図書についてです。特別支援学校用 小学部 算数/数学C、図書名『はどのクルックのとけいえほん』、資料4ページの二重線で見え消しにしてある書籍です。本書は、文部科学省令和6年度用一般図書契約予定一覧の掲載から外れたものであり、報告書より削除するものです。

一般図書冊数については追加、削除ともに特別支援学校小学部算数/数学Cであり、定例会で示した各項目の冊数、全体冊数357冊になりますが、これには変更がございません。

今後の教科用図書等に係る業務につきましては、点検体制を強化し、誤りのないよう確実に進めてまいります。

特別支援学校の教科用図書の発注期限が近づいていることから、教育長専決案件とさせていただきます。以上で、令和7年度使用新潟市立特別支援学校・特別支援学級用一般図書の変更に係る教育長による臨時代理についての報告を終わります。よろしくお願いいたします。

○教育長 ただいまの説明にご意見・ご質問等ございましたらお願いします。よろしいでしょうか。それでは次に進みたいと思います。続いて、令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について、学校支援課から説明をお願いします。

○学校支援課長 報告7ページをご覧ください。

4月18日に行われました全国学力学習状況調査について、各教科における新潟市の結果を報告します。実施対象は例年通り、小学校6年生と中学校3年生、教科は小学校では国語・算数の2教科、中学校では国語・数学の2教科で実施されました。

資料の見方について説明します。黄色のラインに新潟市の平均正答率、そして水色に全国公立学校、薄緑色には新潟市を除いた新潟県の結果をまとめ



てあります。なお、桃色は令和5年度調査における新潟市の平均正答率となっています。

今年度は、小学校の国語で全国平均を上回り、中学校の国語が全国平均と同じという結果になりました。しかし、小学校の算数と中学校の数学で全国平均を下回り、特に小学校の算数では前年度のプラスからマイナスへ転じるという結果になっています。

本調査の結果は、学力の特定の一部ということ、問題及び調査対象の児童生徒が異なることから、単純に比較することはできないものではありますけれども、小学校の算数、中学校の数学については、学習指導の改善内容、そして方法を明らかにし、各学校に指導を支援していきたいと思えます。

また、今後詳細な分析を進め、教育委員会としての取り組みを定めてまいります。詳細については9月の定例会にて報告させていただきます。以上です。よろしく申し上げます。

○教育長 ただいまの説明にご意見、ご質問ございましたらお願いします。

○神林委員 中学校の国語が、令和5年度が70%で、今年度が58.1%でかなり差があるのですけれども、この原因等は把握されているのでしょうか。

○学校支援課長 問題については、おそらくですが昨年度数値がかなり高い傾向があったのではないかと思います。その結果、妥当なところに落ち着かせるようなかたちで問題作成に当たっていると思えますので、こういったことは起きるということで文部科学省の対応となっております。

○教育長 他はいかがでしょうか。

それではこれは速報の段階ですので、また詳細の分析をお願いしたいと思います。では、次へまいります。

次の、和解及び損害賠償額の決定に係る専決処分については、市議会へ公表前であることから、その次の、職員の人事措置に係る教育長による臨時代理については、人事案件であることから非公開で行いたいと思えますがご異議ございませんでしょうか。

(異議なし)

それでは公開案件の終了後に非公開案件として再開いたします。

続きまして、日程第4 次回日程について、教育総務課から説明をお願いします。

#### 第4 次回日程

○教育総務課長 9月の定例会でございですが、9月30日、月曜日、時間は午後3時30分を予定しております。よろしくお願いいたします。

#### 第5 公開終了

○教育長 以上で、公開案件を終了します。これより定例会を非公開といたします。傍聴の方及び報道関係者の方はご退席をお願いいたします。

(傍聴者・報道関係者退出)

#### 第6 定例会(非公開) 付議事件

第7 定例会(非公開) 報告

第8 閉会

○教育長                    これで定例会を閉会します。

以上、会議のてん末を承認し、署名する。

署名委員

渡部 雄一郎

署名委員

齋藤 昭彦